

1. 事業実施のための調査・準備

- (1) 時期：2015年7月～9月（9日）
- (2) 場所：青森県、岩手県、宮城県、福島県
- (3) 対象者：調査者（延べ13名）
- (4) 内容：
 - 第1次選定で保留及び追加調査が必要とされた巡礼地及び新たに提案された巡礼地の調査、お寺や神社など各連携先との調整作業を継続的に実施した。

2. (仮称) 親子海遍路体験ツアー

- (1) 時期：2015年8月23日（日帰り）、8月29日（土）～30日（日）計2回
- (2) 場所：相馬市、新地町、山元町、亘理町、石巻市、女川町、南三陸町
- (3) 対象者：参加者8月23日／23名、8月29日～30日／15名 計38名
- (4) 内容：
 - 地元観光業のたびむすびとのモデルツアーの企画開発と社会実験。海と陸との境界（辺地）の空間を辿りながら、海とともに生きてきた人々の文化を実体験し、学び、自ら考えるモデルツアーを実施するとともに巡礼者識別目印として宮城大学でデザインしたリストバンド及びTシャツを身に付けて頂き海遍路ツアーを実施した。

■2015年8月23日（日）福島と宮城の海物語 ～相馬、新地、山元方面

【参加人数】23名

【属性】

- ・性別：男性 9名／女性 14名
- ・年代：20代（1名）、30代（2名）、40代（2名）、50代（4名）、60代（5名）、70代（5名）、80代（3名）、不明（1名）
- ・居住地：仙台市青葉区（6名）、仙台市宮城野区（7名）、仙台市太白区（4名）、仙台市泉区（1名）、岩沼市（1名）、山形市（1名）、横浜市都筑区（1名）、不明（2名）

▼松川浦での放射線測定の説明



▼新地町役場展望デッキから村上理事の説明



▼中浜小学校での紙芝居（庄司アイさん）



▼復旧した巨理町鳥の海温泉

